

令和4年度第3回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日時：令和4年9月30日(金) 14時～16時05分

会場：東部浄化センター 1階会議室

議 事

(1) 公営企業会計のしくみについて

○事務局から説明

(2) 下水道事業経営戦略の見直し（素案）について

○事務局から説明

○質疑応答・意見

〔委 員〕

東部浄化センターだけでなく、クリーンピア千曲やアクアパル千曲にも老朽化や耐水化の計画はあるのか。

〔事務局〕

本市と同様に県が耐水化計画等を策定して実施している。

〔会 長〕

農業集落排水の豊野処理区が2地区から1地区に変わっている。計画面積は変更を加えていないということだが、令和14年度までは計画面積は変更しないのか。

〔事務局〕

全体の計画面積を広げることはある。例えば、ある地域の下水道を取り込むときは、全体計画を拡張する。

〔会 長〕

収支計画の他会計繰入金は雨水があるから繰り入れると説明があった。今は元利償還金によって決まるという説明だが、どちらか。また、基準内と基準外があり、基準外は剰余金等を積増しすることを指すと思うが、基準内はどちらになるのか。

〔事務局〕

雨水と汚水で変わってくる。雨水分は全額公費で一般会計から繰り入れることになる。一方、汚水分は使用料で全て賄うよう決まっていたが、国の方針が平成10年代に変わり、一部繰り入れるようになった。汚水事業は元利償還金が多いので、元利償還金が終わっていくことで繰入金が減っていくことになる。

〔会 長〕

基準内は全体に占める雨水の比率で繰り入れるのか、それとも元利償還金の金額で決まるのか。

〔事務局〕

雨水は100パーセントだが、汚水の場合は国の交付税算定割合が決まっている。公共下水道と農業集落排水で割合が異なるが、これが基準内の部分となる。繰入金額は本市の場合は30から40パーセントの間となる。

〔会 長〕

国から交付税がきて、それが繰入金として入ってくるということか。

〔事務局〕

そのとおりである。

〔会 長〕

資料の投資目標に令和3、7、14年度と記載されているが、7年度を選んでいる理由は何か。

〔事務局〕

令和3年度から見て中間ということである。

(3) 今後 50 年間(令和 5～54 年度)の経営見通し

○事務局から説明

○質疑応答・意見

〔委員〕

人口減で収入が減ってきた頃に、経年劣化した塩化ビニル管を更新することになることを想定して今後の使用料を考えていく必要がある。また、ストックマネジメント計画で目標耐用年数を 1.5 倍としながら、資料では更新時期を更に延ばすようになっているが、可能なのか。

〔事務局〕

資料には、補填財源残高が約 460 億円まで増えていき、多額の補填財源を抱えているように見えるが、将来的に塩化ビニル管がどの程度の耐用年数になるのかわからない。実際にはもっと長く使えると考えているが、リスクということで今回記載している。また、管や機器等はリスク評価に基づいて更新時期をさらに延ばしていくが、支障のあるものを早めに直しながら、優先順位を付けて延命化を図っていく。

〔会長〕

今後、耐用年数を見極めながら塩化ビニル管の更新をしていくことになるが、その頃には、ほかの更新方法が出てくる可能性もある。必要な資金が適切に貯められているかを見極めていかなければならない。塩化ビニル管は負荷をかけたテスト等をやっているのか。

〔事務局〕

塩化ビニル管自体はひび割れ等することはなく、外圧によって扁平して繋ぎ目から水が入ったりする破損が多い。メーカーの耐久試験データ等があるか確認して、次回の審議会でお知らせする。

〔会長〕

耐用年数の 66 年よりもかなり長く使用できそうか。

〔事務局〕

ヒューム管より長く使用できると考えている。外圧に耐えられるかどうかの試験は必ず行っているが、それによって耐用年数が何年になるかは出せないのではないかと。いずれにしても確認してお知らせする。

〔委員〕

腐食もあるのか。

〔事務局〕

腐食もあると思う。流れる物によっては油が溜まったりすることもあるため、市内を 7 つのブロックに分けて 7 年に 1 回清掃を行っている。

〔会長〕

現時点で経営は健全と言える。少しずつ資金を貯めていき、50 年間で 460 億円まで貯められる見込みということだと思う。ただし、リスクは抱えているため、考えていかなければならない。

(4) 下水道使用料等について

○事務局から説明

○質疑応答・意見

〔会長〕

今回は現状について説明いただいた。次回はどうすべきかが主な議論になる。基本使用料と超過分のプラスアルファについて、長野市は基本使用料を 8 立方メートルまでとしているが、基本水量ゼロで基本使用料を設定して、超過分を上乗せしていく市町村もあるようだ。